



## ここがチアダンスの良いところ! 「長居HOPPERS」の キッズチアリーダー達にインタビュー!

性格が明るくなったねと言われます。

「チアをはじめて、学校でも友達がたくさん出来たのが嬉しいです」という明るい笑顔が印象的な眞生さん。チアダンス歴4年目を迎え、大会で優勝することを目標に一生懸命に練習に取り組む毎日です。

森岡 真生さん（9歳）



親では教えられない人間関係が学べています。

ダンス歴3年、「少しでも上手になって早く上のチームで踊りたい」という向上心のある咲貴さんと、妹の莉央さん。お母さまによると、「チーム内に縦の繋がりがあるのが特徴ですね。親だけでは教えられない仲間意識や人間関係が学べるのが魅力です」とのことです。

高橋 マリ子さん 咲貴さん（9歳） 莉央さん（5歳）

努力や礼儀の大切さを自然に学べる環境です。

キッズダンス歴3年の朱さん。ダンス経験のあるお母さまは「学校でも前に出るタイプではなかったのに、チアダンスをはじめてから積極的になってきました。礼儀や努力も、周囲から自然に教わっている感じです」と、目を細められていきました。

喜多條 聰子さん  
朱さん（7歳）

お姉ちゃんみたいになりたい!お揃いの衣装がキュートな姉妹。

「上手に踊れた時が楽しいです」という姉の優さんと、そんなお姉ちゃんが目標だという妹の心さん。「ごあいさつもちゃんとできます!」と元気いっぱいに話してくれた仲良し姉妹でした。

山部 優さん（8歳） 心さん（6歳）



レッスン  
リポート

## 大阪・長居の人気チアダンスチーム 「長居HOPPERS」の練習を取材しました!

大阪・長居公園のキンヨウスタジアムでレッスンを開催している長居スポーツクラブのキッズチアダンスチーム「長居HOPPERS」には、インストラクターの松井愛先生の指導のもと、4歳から中学2年生までの子供たちが、それぞれのレベルに応じた3チーム制でダンスの練習に汗を流しています。「キッズチアダンスカップ2015」を間近に控えたこの日、和気あいあいとした雰囲気を見せながらも、音楽が流れた途端一転して真剣な表情になるキッズチアリーダー達。ランダンスやジャズダンス、ヒップホップダンスの要素を取り込まれた競技だけに、ハードな運動量が必要とされますが、動きが乱れることもなく機敏な動きを見せ、大会本番

で披露する2分30秒の演技の最終調整に余念がない様子でした。関東に比べ、チアダンスの知名度が高いとは言え位置などについて、単に指導者の指示に従うのではなく、各チームのリーダーを中心に、相談しながら進めるなど、自主的に練習を取り組む姿も印象的でした。関東に比べ、チアダンスセンターなどでも、チアダンス教室が身近な存在になってきた。体力面だけでなく、友達作り増加し、スポーツクラブやカルチャーセンターなどで、チアダンスの知名度が高まっている関西ですが、近年ではチアリーディング経験者を中心指導者もアドバイスを中心に、相談しながら進めるなど、自主的に練習を取り組む位置などについて、単に指導者の指

示に従うのではなく、各チームのリーダーを中心に、相談しながら進

みました。体力面だけでなく、友達作り

や礼儀・マナーも身に着けられる習

い事としても人気を集めています。



### 長居スポーツクラブスタッフにお伺いしました。長居HOPPERSの魅力!

- チームがまとまっているような時や今回のような大きな大会前などには、子どもたちだけでミーティングをし、自分たちは何をするべきか、何が足りないのかを自分たちで考えています。自分たちで考え、行動することで、より団結力が強くなっていくのを見ていてとても嬉しく思います。
- 卒業した子が学校で仲間を集め、サークルを結成してくれていることも。松井先生の思いを受け継ぎ、子どもたちもチアダンスの普及を担ってくれています。そんな子どもたちが、いずれ一人でも講師となって、長居HOPPERSに戻ってきてくれたら最高!そう思える子どもたちばかりなんです。
- 今回のチアダンスカップは、もうひとりの全体リーダーが入院をしていたために出場できなかったのですが、彼女の分も頑張ろう!一緒に大会へ!という思いを込めて、彼女の頭文字Rをリボンにつけて出場しました。

